

危険物新聞

第 492 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 松 村 光 惟
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9717・5910

定価 1部 60円

第 4 回危険物取扱者試験

2月12日(日)、府大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成6年度第4回危険物取扱者試験を2月12日、大阪府立大学で次のとおり実施する。

第 4 回危険物取扱者試験

試験日	2月12日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	1月19日(木、20金)
願書受付場所	大阪府職員会館

予備講習会は

甲種、乙種4類、丙種について

予備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について、大阪、堺、枚方、吹田など府下8会場[※]で別掲(8頁参照)のとおり行なわれる。

保安講習 2月期

平成6年度の保安講習会は、第65回、2月20日の会場で終了する。平成7年度は、6月下旬より実施の予定で、その間は実施されない。

回数	開催日時(予定)	会 場	所在地 又は 最寄駅
◇化学工場関係(1会場)			
62	2月9日(休)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
◇その他・一般(6会場)			
59	2月13日(開)午後	弘容ビル・東大阪	近鉄・大阪線・布施駅
60	2月6日(開)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
61	2月8日(休)午後	大阪府商工会館	〃
63	2月14日(休)午後	茨木市商工会議所	J R・阪急・茨木駅
*64	2月16日(休)午後	堺 市 民 会 館	南海高野線・堺東駅
65	2月20日(開)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅

- 注1. 講義時間は3時間。(開講時間は講習会場によって若干異なる。)
- 注2. 会場欄中*印の会場は駐車可。(ただし、堺市民会館は有料。)
- 注3. 会場によっては、予約申込みが殺到し、満席に近いところもあるので、できるだけ早く、日程の予約をされたい。
- 注4. 日程予約申込み書(所定の往復ハガキ)は、府下各消防署で入手されたい。

H&H

HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市沼津田23-5 TEL. (0720) 56-1281代
東京本社 〒1105 東京都港区芝大門2丁目5-7 TEL. (03) 3434-4841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢が
そこにある。

現地報告

長野県、M石油(株) 上田油槽所 屋外タンク3基炎上

94年(平成6年)10月9日、午後6時15分頃、長野県上田市内のモービル石油株上田油槽所において配管工事の作業中、漏洩したガソリンに引火し、タンク火災となり、約4時間後に鎮火した。

当日の気象状況は、晴れ、東南の風、風速1.3m/s、温度19.9℃、湿度48%であった。

また、油槽所周囲の状況は、北東側にはJR・信越本線が通り、西上田駅、貨物の引き込み線が隣接、東南側はN社等の油槽所が隣接、西側には住宅団地が近接、南西側にはN社ローリー常置場が隣接している。

同油槽所は、敷地面積8,283㎡、屋外タンク貯蔵所8基、一般取扱所2(ローリー充填場)、屋内貯蔵所1、屋外貯蔵所1の危険物施設を有していた。

同油槽所では、危険物の大量輸送化に対応するため、タンク配管、ポンプ回り、及び一般取扱所について変更工事を行っており、事故は、配管の径を4インチのものから6インチに取り替える作業中に発生している。

事故の概要


事故当日は、日曜日ということもあって、油槽所は操業を停止しており、所長と工事業者の計6名のみが監督・工事に従事していた。

また、当日、仮使用を行っていた6基のタンク及び工事に関係しなかったため通常の貯蔵状態にあった2基のタンクの油種、容量、発災時の貯油量は次のとおりである。

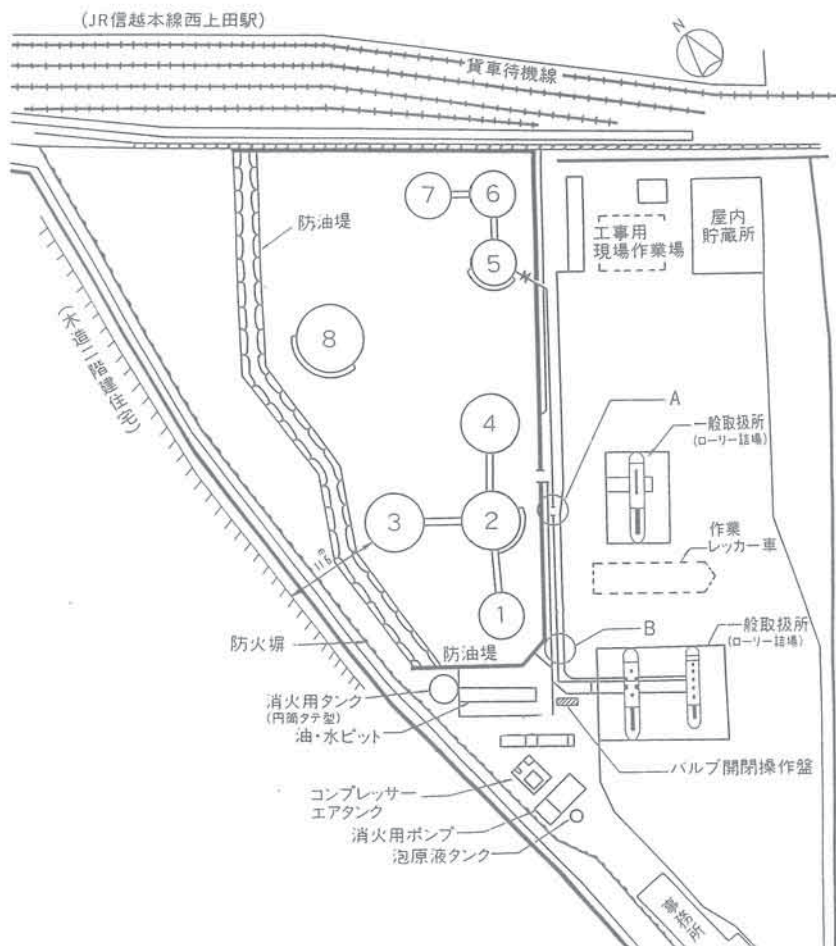
事故当日の各タンクの貯油量

タンク番号	油種	容量 kℓ	発災時貯油量 kℓ	鎮火時貯油量 kℓ	
No 1	軽油	150	88	86.4	燃焼
2	ガソリン	296	220	186.3	燃焼
3	軽油	330	241	—	
4	ガソリン	310	287	264.3	燃焼
5	ハイオクガソリン	180	174	5.7	流出
6	A重油	180	180	—	
7	A重油	180	132	—	
8	灯油	550	241	—	

MORITA
森田ポンプ株式会社
本社 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 TEL 06(758)9723



MORITAが誇る
先進の技術を駆使した
ツインジェット推進ポンプ搭載の
小型消防救助艇



モービル石油(株)上田油槽所敷地内配置図

- ※①A箇所：ハイオクガソリンが噴出した未結合のフランジ部分
- ②B箇所：配管の長さが短すぎたため溶接して継ぎ足した部分

発災時に行っていた作業は、No5タンクから一般取扱所への配管の取り替え作業中に起こったもので、ハイオクガソリンが噴出したフランジ部分は結合されていなかった。(問題のこのフランジ部分は、一旦はボルト締めが終わっていたものの、次の工程であった一般取扱所への配管結合部分で配管の長さが短すぎたため、継ぎ足し溶接作業を行う際、ボルトを外し、溶接終了後もそのままの状態になっていたもの。)

No5タンクの元弁が開き、フランジ部分からハイオクガソリンが噴出。所長及び作業員はフランジのボルトを締めて漏洩を止めようとしたが、滴液に近いガソリンが貯蔵されていたため噴出圧力に阻まれ、ボルト締め作業に失敗し、全身にガソリンをあげ、ズブぬれの状態になった。(No5タンクガソリンは、ほぼ全量漏洩、燃焼している)

そこへ、何らかの火源により引火ものである。

消火活動は、上田市消防本部を中心とした消防職員・消防団員692名、出動車両58台、によって行われ、JR 信越線の上下線の停止、付近住民の避難、N社ローリーの移動(事故時十数台常置)等及び住宅団地側での水幕放水による類焼の防止、N社油槽所のタンク群れへの誘爆等を阻止し、二次被害も防ぎながら、約4時間後の午後9時46分に鎮火している。

問題点及び対策

- ① 点火源は現在調査中であるが、工事作業用の投光器、レッカー車のエンジン又は高熱化したマフラー部分等が推測されているが、詳細は不明。
- ② No5タンクの元弁は、防油堤の外側部分の操作装置によって行われる仕組みになっており、何故、元弁が解放状態になったのか現在調査中である。



激しく炎を上げて燃焼中のタンク群

- ③ 油槽所の固定式泡消火設備の原動機が起動せず、事故時には使用できなかった。輻射熱のためガソリンエンジン過熱し、可動しなかったと推測されている。
- ④ 爆発・火災が発生した位置が、防油堤の外側であったため堤内火災は発生せず、輻射熱により一部のタンクの燃焼だけで終わった。(No1は天板が吹き飛びタンク内に火が入ったが、No2、4はインナーフロート型タンクであった為、換気口からの火災で終わっている。)
- ⑤ 2年前に隣接N社等油槽所において、上田市消防本部を中心とした大がかりな消防訓練が実施されており、その訓練が火災現場に活かされたようである。
- ⑥ テレビの字幕の緊急速報が流れ、また、運転手(7-9名)も近在にいたため、N社駐車場のローリーの移動退避が迅速に行われた。
- ⑦ その他

危険物安全週間

推進標語募集

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため、毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。

そこで、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

★応募方法 郵便はがき1枚につき、標語1点とします。
 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号
 ・年齢・性別・職業を必ずご記入下さい。応募
 作品は未発表のものに限ります。
 ※応募のきまりをお守りください。

★応募資格 年齢、職業、性別等の制限はありません。

★締切 平成6年12月27日(火)必着
(当日消印有効)

★選考方法 関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

- ★賞**
- 最優秀作 1点
消防庁長官賞と副賞20万円
 - 優秀作 1点
全国危険物安全協会理事長賞と副賞10万円
 - 優良作 10点
1万円相当の記念品
- ※入選作品の発表は、入選者だけにお知らせします。
 なお、入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

★あて先 〒105 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
 日本消防会館5階 |
 (助)全国危険物安全協会内
 危険物安全週間推進協議会
 ☎03-3597-8393



平成6年度 危険物安全運動推進標語
一瞬のすきも許さぬ 危険物

平成 5 年中 危険物施設等における災害の現況と最近の動向

平成 6 年版消防白書より

自治省消防庁では、平成 5 年中の火災統計をまとめ平成 6 年度版消防白書を発表した。
この白書により、最近の危険物災害の現況と傾向をさぐってみたい。

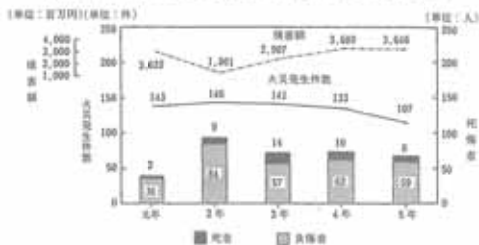
危険物施設等における災害

(1) 火災

ア 火災件数と被害

危険物施設における平成 5 年中の火災の発生件数は 107 件 (前年 133 件)、損害額は 36 億 4,631 万円 (同 36 億 8,935 万円)、死者及び負傷者は、それぞれ 8 人 (同 10 人)、59 人 (同 62 人) となっている。

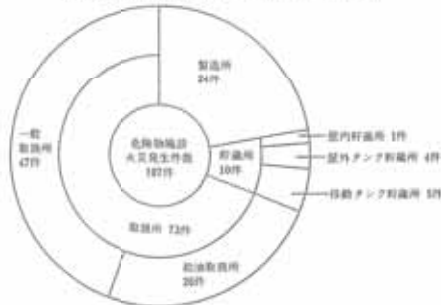
危険物施設における火災の発生件数と被害状況



火災発生件数は、前年より 26 件減少し、火災による被害は、7 月に愛媛県新居浜市のエポキシ樹脂製造工場の爆発火災により、死者 1 人、負傷者 3 人を出すなどしたが、前年に比べ死者数は 2 人、負傷者数は 3 人減少している。損害額は、前年に比べわずかに減少している。

また、危険物施設の火災による他への影響の程度についてみると、105 件 (他の施設から類焼した 2 件を除く。) の火災のうち 95 件 (95%) が危険物施設のみでの火災に止まっている。残る 10 件 (9.5%) が他の施設まで延焼した火災となっている。

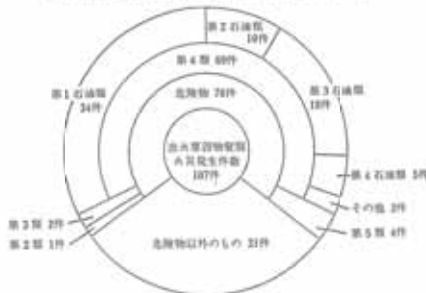
危険物施設別発生件数 (平成 5 年中)



次に、危険物施設別の火災発生状況を見ると、取扱所での火災が 73 件と最も多く、その中でも一般取扱所での火災が 47 件と全体の半数近くを占めている。

さらに、出火原因となった物質を消防法別表の分類等に従って区分すると、107 件の火災のうち 76 件 (71.0%) が危険物が出火原因物質となっており、品名別では、第 4 類第 1 石油類 34 件、第 4 類第 3 石油類 18 件、第 4 類第 2 石油類 10 件等の順となっている。

出火原因別火災発生件数 (平成 5 年中)



イ 火災の発生原因及び着火原因

平成 5 年中に発生した危険物施設における火災の発生原因の比率を、人的要因、物的要因及びその他の要因に区別してみると、人的要因が 55.1% (59 件) と最も多くなっている。物的要因は 18.7% (20 件)、その他の要因は 17.8% (19 件) となっている。

また、着火原因をみると、裸火と衝撃による火花がともに 13.1% (14 件) ずつで最も多く、次いで静電気火花 12.1% (13 件)、電気火花 10.3% (11 件)、高温表面熱 10.3% (11 件) となっている。

ウ 無許可施設の火災

製造所、貯蔵所又は取扱所として許可を受けていない無許可施設での火災の発生件数は 7 件で、負傷者 4 人 (死者なし) となっている。

なお、これらの火災による損害額は、2 億 6,483 万円となっている。

エ 危険物運搬中の火災

危険物運搬中の火災の発生件数は5件で、負傷者は2名で(死者なし)となっている。なお、これらの火災による損害額は2,859万円となっている。

(2) 危険物流出等の事故

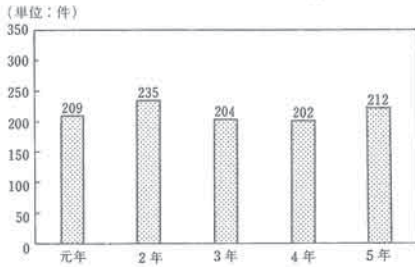
平成5年中の危険物施設における危険物流出等の事故発生件数(火災に至らなかったものは、212件(前年202件)となっている。


危険物施設別流出等事故発生件数(平成5年中)



このほか、危険物運搬中に11件、無許可施設において10件、仮貯蔵・仮取扱中において1件の危険物流出事故が発生している。

危険物施設における流出等の事故発生件数

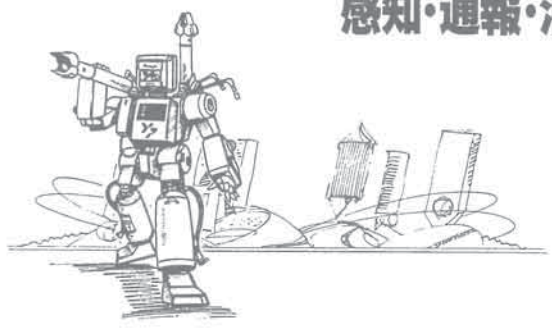




セフティも アフターも

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火

・キリル・



防炎設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。総合防災メーカー・ヤマトプロテックは「感じ・知らせ・けす」を安全確保のキーワードとして、目的に合った防災機器の研究開発をもう一度ヒューマンサイズのシステムとして完成させていきます。

* 防炎による安全確保環境づくりのソリューションは、YAMATO ROTECの強みです。

防炎設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。総合防災メーカー・ヤマトプロテックは「感じ・知らせ・けす」を安全確保のキーワードとして、目的に合った防災機器の研究開発をもう一度ヒューマンサイズのシステムとして完成させていきます。

ヤマトプロテック株式会社

本社 〒537 大阪市東成区茨江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

ビル・商店・工場・プラント・防犯・消防・警報・各種防火

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)



株式会社 技研

〒530 大阪市北区天満4丁目1番8号 工技研ビル ☎358-9467-8

全危協事務局長会議

11月10日、箱根で開催

平成 6 年度、財全国危険物安全協会事務局長会議が 11 月 10 日、神奈川県箱根町で開催された。

事務局長会議には、40 都道府県、74 名が出席。財全国危険物安全協会の加賀常務理事のあいさつ、地元出神奈川県危険物安全協会連合会高橋会長の祝辞のあと、議事にはいり、消防法規制緩和推進策に関わる要望、また書類・申請様式等の A 版化、保安講習講師等の傷害保険、平成 7 年度定期点検技術者等の議題について討議された。

その後、研修会として箱根町立郷土資料館前館長加藤利之氏による「江戸から明治への箱根」の講演があり、引き続き懇親会に移り、なごやかな雰囲気の中で情報交換等が行われた。

協会だより

■ 大危協北方面部会開催

北方面部会は 11 月 10 日午後、箕面観光ホテルにおいて、阪本部長以下 9 協会長出席のもと、同ブロックの消防長と関係者の出席のもと開催。部会長の挨拶のあと各協会相互の資料交換が行われた。

部会終了後、懇談会が開かれ、情報、意見交換が活発に行われ終始なごやかな雰囲気のうち終了した。

■ 泉佐野市火災予防協会 創立 45 周年記念式典開催

泉佐野市火災予防協会では、昭和 24 年協会創立以来 45 周年を記念し 11 月 11 日午後 3 時からホリディ・イン関西空港で、記念式典を盛大に挙行了した。

式典には泉佐野市長、大阪府知事代理、議会議員、大危協副理事長他多数の来賓や会員が出席、開催された。

優良事業所、会員等の表彰が行なわれ、引き続き記念パーティーが開かれ和やかな雰囲気のうちにとどこりなく終了した。

■ 吹田市危険物安全協会 研修会、定例表彰、懇親会を開催

12 月 2 日、吹田市危険物安全協会では、会員研修会・会長定例表彰・懇親会を開催した。会員研修会は、大阪市立生野防災センターで行われ、危険物事業所での地震、災害が発生した場合の対応等を受講。その後、最新技術導入によるシュミレーション・体験コーナーなどを視察した。

会長定例表彰・懇親会は、江坂の「レストランくすの木」で行われ、会長表彰は、12 名に授与された。引き続き懇親会に移りなごやかな雰囲気のうち、8 時頃終了した。

■ 柏、羽、藤消防本部・消防署 藤井寺市青山に 4 階建新庁舎完成

柏、羽、藤消防組合消防本部では、昭和 39 年に建設された旧庁舎では本部機能が狭隘と老朽化のため、情報化社会の先端を行くコンピュータを駆使した消防緊急情報システムを備えた新庁舎の建設を進めていたが、このほど完成し 12 月 1 日より業務を開始することになった。



柏羽藤消防本部新庁舎

新庁舎は、鉄筋コンクリート造 4 階建、建築面積 1,378㎡、1 階は大型車庫、トレーニングルーム、2 階は署事務室、通信指令室、3 階は本部事務室、視聴覚室、議場、4 階は、屋内訓練場となっており、今後さらに発展する 3 市の防災の拠点に相応しい近代的な庁舎となった

新庁舎所在地…大阪府藤井寺市青山 3 丁目 618 番地の 8

消 防 本 部…TEL0729-58-0119(代)

FAX0729-58-9900

消 防 署…TEL0729-58-9939

危険物取扱者予備講習のご案内

平成6年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月25日(水)、1月31日(火)、2月3日(金)	9時30～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種 4類	1期	1月23日(月)、2月2日(木)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	2期	1月20日(金)、1月25日(水)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	3期	1月25日(水)、1月26日(木)	10時～16時30分 堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4期	1月19日(木)、1月20日(金)	10時～16時30分 北河内(枚方)府民センター (京阪枚方市駅ヨリ約5分)
	5期	2月2日(木)、2月3日(金)	10時～16時30分 吹田メイシアター (阪急千里線吹田駅ヨリ約5分)
	日曜	1月22日(日)、1月29日(日)	9時30分～17時 大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)
丙種	2月1日(水)	9時～16時	大阪府商工会館

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内にお願ひします。
 ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付できませんからご了承下さい。
 ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所	日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅より北へ6分)	東大阪市西防火協力会 1月10日(火) 午前10時～11時30分
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口消防署 1月10日(火) 午後1時30分～4時
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅南へ5分)	枚方市寝屋川市防火協会 1月11日(水) 午前10時～11時30分
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会 1月11日(水) 午後1時30分～4時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会 1月12日(木) 午前10時～11時30分
吹田市消防本部内	吹田市危険物安全協会 1月12日(木) 午後1時30分～4時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会 1月13日(金) 午前10時～11時30分
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 1月13日(金) 午後1時30分～4時
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 1月17日(火) 午前10時～午後4時 1月18日(水)

(注) 12:00～13:00までは昼食で受付事務を一時休みます。

3. 日曜コースの申込方法

日曜コース(定員70名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

(会費には、各テキスト代を含みます。)テキスト不要の場合は甲種、乙種2,000円減額。(テキストは平成6年度用改訂版を使用)

種別	会費	会員外
甲種	15,000円	18,000円
乙種4類	11,000円	13,000円
乙種(日曜コース)	14,000円	16,000円
丙種	5,000円	6,000円